

令和5年度

# 第1回 学校運営協議会【まとめ】



神戸市立会下山小学校

(1) 日時 令和5年 6月16日(金) 10:00~11:30

(2) 場所 会下山小学校 わくわくホール

(3) 1. はじめのあいさつ

校長

※学校運営方針

- ・児童数 560 名、少しずつ減少傾向。

※コミュニティスクールについて

2. 令和5年度の会下山小学校の取組について

教頭

※教育目標、めざす子どもの姿、重点的な取り組み  
を中心に話をします。

- ・基礎学力の定着（授業・朝学・家庭学習）

【協議員より】

- ◆PTA は本来、学校への意見を伝えて話し合い、解決していくもの。現役の声が今後も必要となる。例えば「不登校」。地域でできることはないのか模索。
- ◆PTA は「学校」「保護者」「地域」を加えた話し合いをお願いしたい。
- ◆授業時数の削減、内容的にはどうなのか。
- ◆ICT、英語が増えている。自然体験も必要なのだが。個人的には、英語よりも日本文化を大切にすることの方が大切に思う。
- ◆どんな子を育てたいか。子供は地域の担い手。祭りの準備などをする大人を見て感謝の気持ちを育てたい。今は世代のつながりが少ない。
- ◆昔は学校帰りでも近所の大人に頭を下げる機会がたくさんあった。
- ◆時数が多いままになっていた。学期初めや学期末などの時数カットを考えている。図工の時間はもともと少ない。

3. 学校のきまり・子供の様子

総務

- ◆信号の青点滅の際、子供を渡らせるのか、待たせるのか？大人も平気で大きな道路を横切る姿を見かける。マスクは相手の表情が分からない。

4. 意見交換

- ◆基礎学力とは何を指すのか。公文？商売人は、そろばんの力が大きい。反復

学習は大切。

- ◆習熟度別学習を、自分の子供の際はやってもらっていた。今は実施しているのか。じぶん学習の説明を聞くと、できる子は相乗効果でさらに伸びると思うが、できない子は分からない。ますます格差が生まれるのではないか。
- ◆じぶん学習に対してフォローの仕方が分からない。説明を聞いて、少し理解できたように思う。自分の課題を見つけて反復学習をしたり、自分の興味をさらに伸ばせるような声掛けをしたい。自分の子は九九はできているが、大きな数の足し算が苦手。
- ◆学童で宿題を教えている。じぶん学習の理想と現実の差がまだまだ感じる。一生懸命絵を描いている児童がいる。褒める声掛けは大切。学童児童への関りについて考える機会となった。
- ◆教えることは本当に難しい。

## 5. その他

今後の予定	第2回	令和5年	11月24日(金)	予定
	第3回	令和6年	2月16日(金)	予定